

## おだやかな日差しを浴びて彩る花々 晩秋の公園で花めぐり

ハマギク・ツワブキ・メキシカンブッシュセージ他



平成22年11月2日撮影

コキア・コスモスのシーズンが終わりを迎え、ひたち海浜公園では、ただいま晩秋の花々が開花中です。

写真は“ひたちなか市の花”ハマギクです。園内各所で清楚な白い花を咲かせ、青い空を背景に美しく映えています。

そのほか、ツワブキが黄色い花を咲かせ、同じく開花中のメキシカンブッシュセージ、これから見頃を迎えるイソギクなどが深まりゆく秋を彩ります。

春のスイセンやネモフィラ、秋のコキアの紅葉のような大規模な風景ではありませんが、風情ある花の佇まいをお楽しみいただくことができます。

ハマギク、ツワブキ、メキシカンブッシュセージは今が見頃、イソギクは11月中旬が見頃となります。おだやかな日差しを浴びて光り輝く花たちを探してみませんか？

### お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報宣伝チーム 青木・服部・和光

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL:029-265-9001(報道関係者の方は029-265-9004・9005 迄) FAX:029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

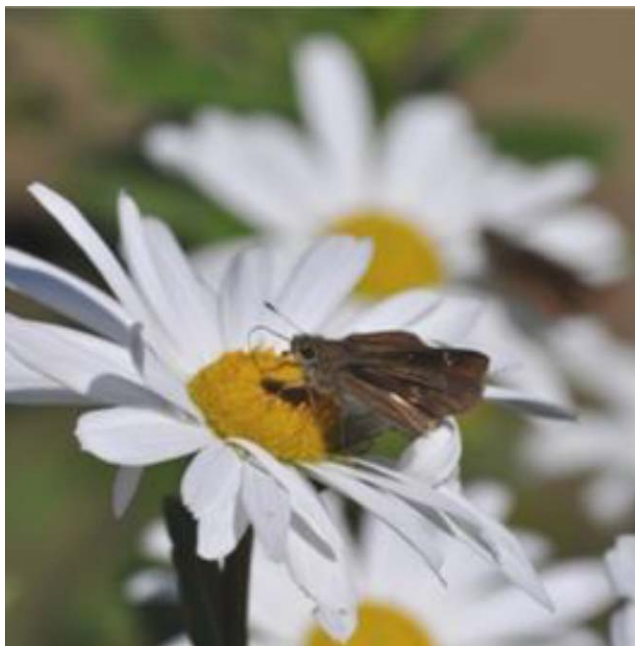
ただいま  
見頃です！

# ハマギク

キク科キク属 多年草

原産地：日本

ハマギクは茨城県から青森県の太平洋側に分布し、海岸の崖などに生える日本原産のキク科の植物です。学名は「*Nipponanthemum nipponicum*」。植物として唯一属名にも種小名にもニッポンの名が入った学名を持ち、茨城県出身の植物学者、松村任三氏によって命名されました。本公園のあるひたちなか市の花はこのハマギクで、ひたちなか市付近がハマギクの自生地の南限であることから、市のシンボルとなっています。



平成 22 年 11 月 2 日撮影

ハマギクは海岸の崖などに自生しますが、当公園では砂丘エリアから植栽をはじめ、現在では園内各所にてその花をお楽しみいただくことができます。



大草原北側  
「常陸野サークル付近」

平成 22 年 10 月 27 日撮影



大草原エリア「香りの谷」

平成 21 年 10 月 22 日撮影

まもなく見頃を迎える  
もうひとつの美しいキク

## 「イソギク」

イソギクは日本原産で、茨城県を北限として太平洋側に分布します。花びらのない、あざやかな黄色い筒状の花がかたまって咲き、園内では間もなく見頃を迎えます。



平成 21 年 11 月 12 日撮影

※イソギク開花状況については後日ご案内いたします。

ただいま  
見頃です！

# ツワブキ

キク科ツワブキ属 多年草

原産地：日本



パーベキュー広場付近のツワブキ

平成 22 年 11 月 2 日撮影

ツワブキは福島・石川県以西の海岸や海辺の山などに自生する常緑のキク科の多年草です。名前の由来は、フキに似ていること、そして、葉に海浜植物特有の光沢があることから、ツヤブキが転訛したと言われています。葉や花が美しく、ハマギク、イソギクと並んで観賞価値が高いことから、古くから栽培されてきました。秋になると70cm 程度の花茎が伸び、径3~6cmの黄色い花をつけます。花後はタンポポのような綿ぼうしを1月下旬頃まで楽しむことができます。

## メキシカンブッシュセージ

シソ科サルビア属 宿根草 原産地：メキシコ

メキシカンブッシュセージはアメジストセージやサルビアレウカンサともよばれ、ビロードのような紫のつぼみから同じく紫の花を咲かせるものと、白い花を咲かせるものがあります。ただいま「香りの谷」で見頃をむかえており、谷の主といった、佇まいを見せています。

ただいま  
見頃です！



香りの谷

平成 22 年 11 月 2 日撮影



エノキの丘斜面

平成 22 年 10 月 27 日撮影



平成 22 年 7 月 8 日撮影



平成 22 年 11 月 2 日撮影

### 香りの谷とハーブパートナー

香りの谷は、砂丘ガーデンの最頂部からの谷間を利用した、「秘密の花園」といった趣を持つハーブガーデンです。平成 13 年のオープン以来、公園ボランティア「ハーブパートナー」の皆さんとともに手入れを行ってきました。現在メキシカンブッシュセージの他にも、ラベンダーセージやセンニチコウといったハーブパートナーの丹精込めた花をお楽しみいただけます。



平成22年11月2日撮影